

# 静岡県鉱工業指数 (平成24年12月分速報)

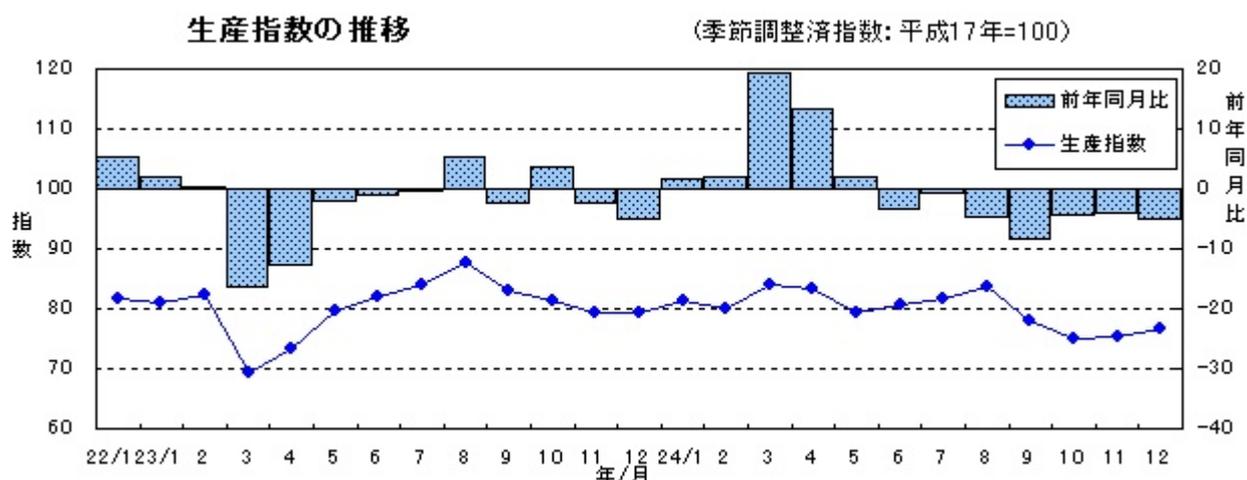
## 1. 生産の動き

前月比1.5%増(2か月連続して上昇)、前年同月比5.0%減(7か月連続して低下)

12月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成17年=100)は76.6であった。

前月比(季節調整済指数)は1.5%増と2か月連続して上昇した。また、前年同月比(原指数)は5.0%減と7か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、輸送機械、その他製品、一般機械等が上昇する一方、電気機械、食料品・たばこ、家具等が低下した。



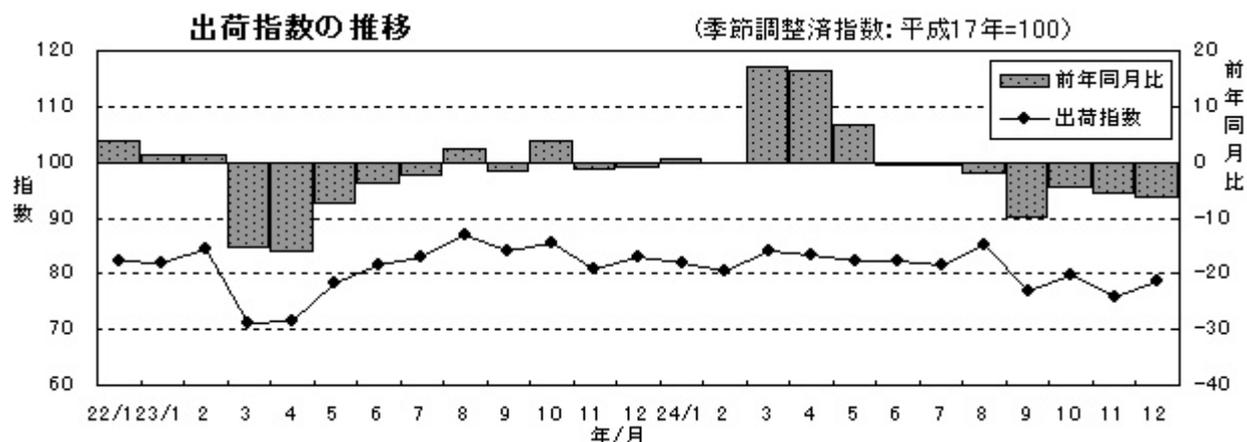
## 2. 出荷の動き

前月比3.7%増(2か月ぶりに上昇)、前年同月比6.3%減(7か月連続して低下)

12月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成17年=100)は78.6であった。

前月比(季節調整済指数)は3.7%増と2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は6.3%減と7か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、輸送機械、非鉄金属等が上昇する一方、化学、精密機械、電気機械等が低下した。



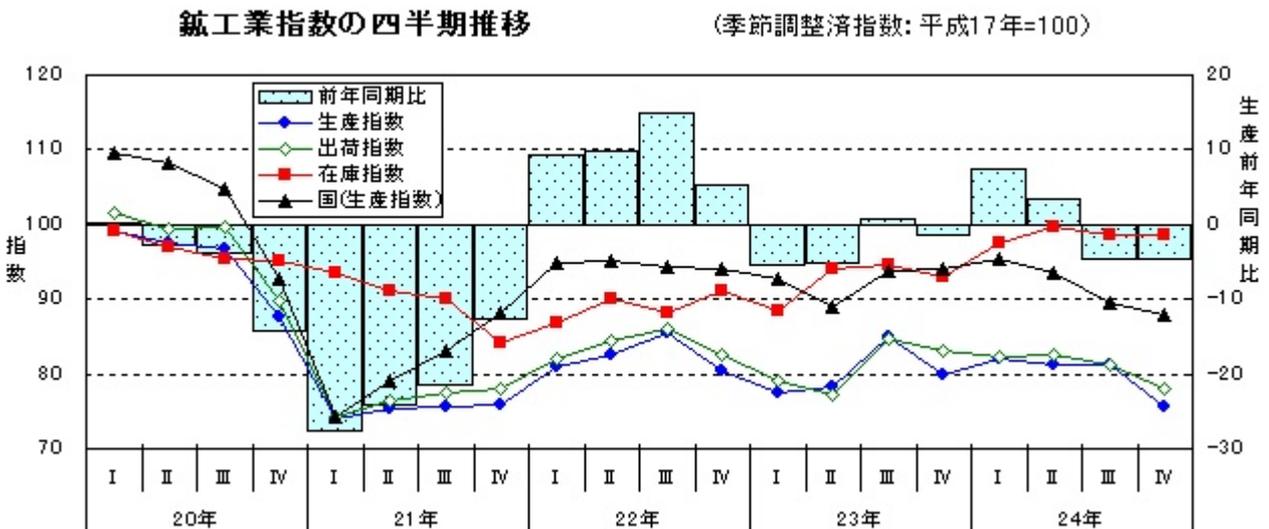
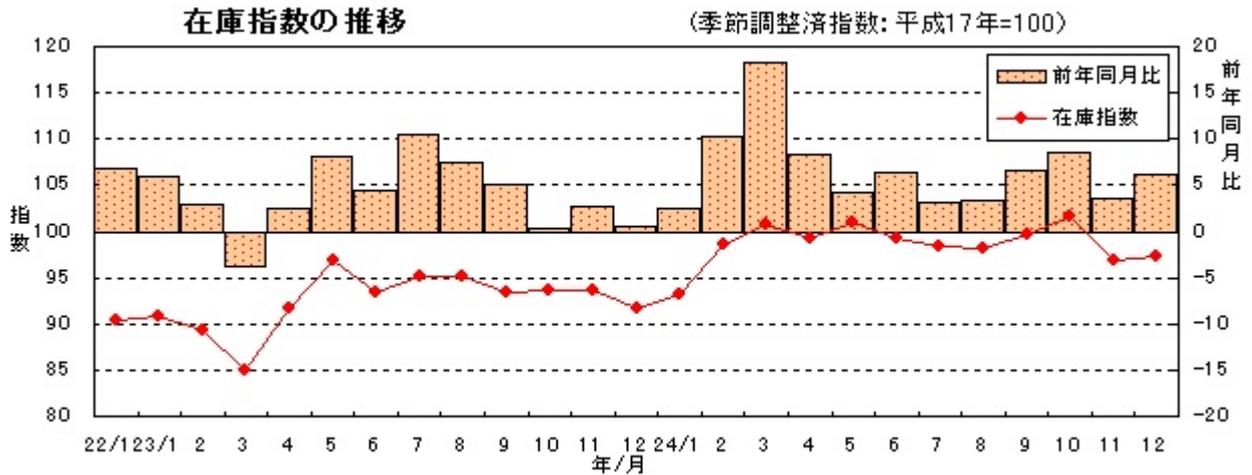
### 3. 在庫の動き

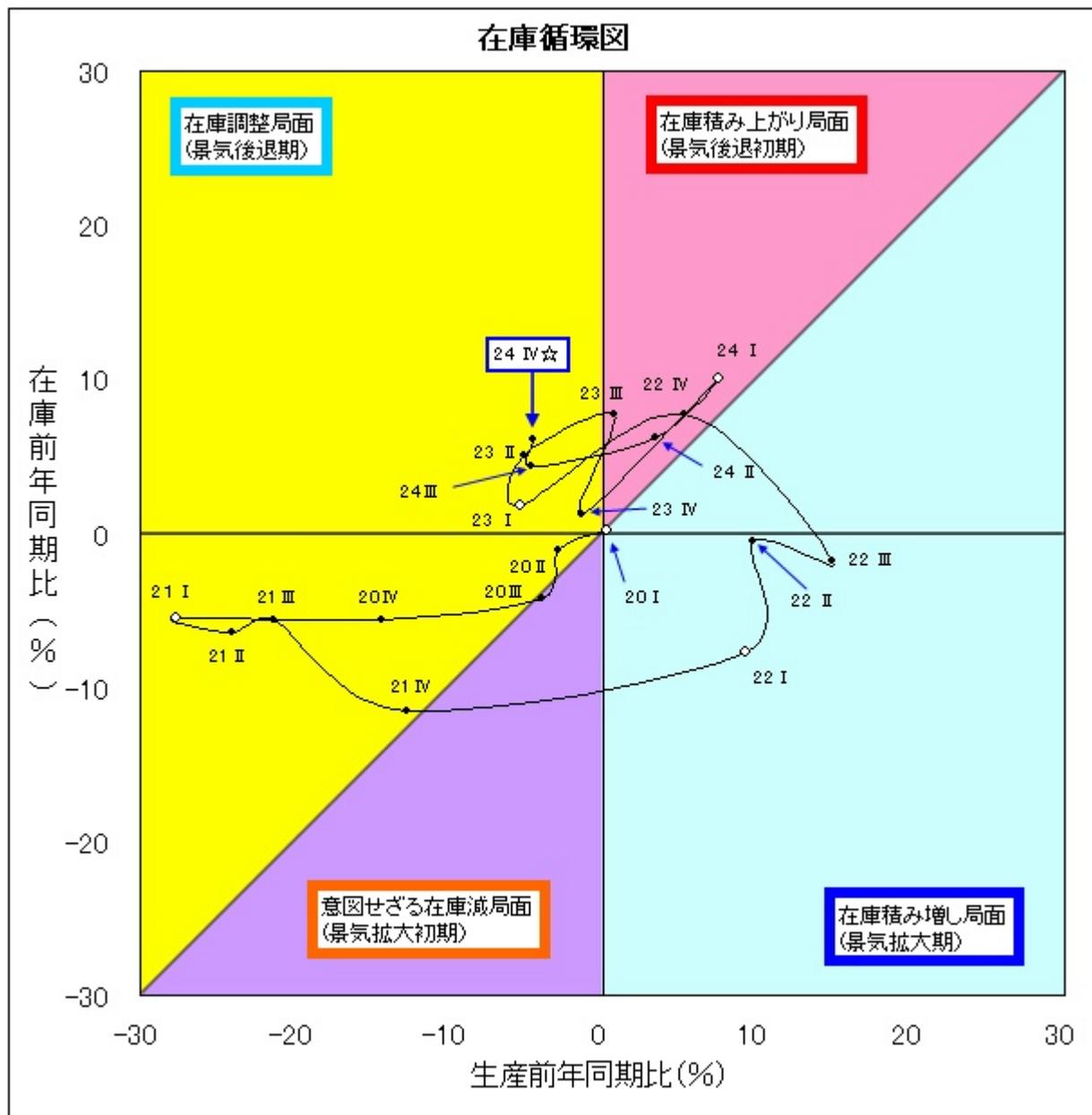
前月比0.4%増(2か月ぶりに上昇)、前年同月比6.2%増(21か月連続して上昇)

12月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成17年=100)は97.3であった。

前月比(季節調整済指数)は0.4%増と2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は6.2%増と21か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、化学、輸送機械等が上昇する一方、繊維、非鉄金属、窯業・土石製品等が低下した。





- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**  
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**  
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 今季はここに該当**  
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**  
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。